

むらやま がっかいだより

発行：村山市議会
編集：議会だより編集委員会



写真：村山市立楯岡小学校
相撲大会でハツケヨイ!

<http://www.city.murayama.lg.jp>

携帯からはコチラ



一般会計 補正予算

2億272万6千円追加

総額

119億8千272万6千円

平成25年第2回
定例会は6月7日から21日までの
会期で開催され、条
例や補正予算などを
審議しました。

上程された議案の
主なものは、新型イ
ンフルエンザ対策本
部を設置するための
条例、中学生の入院
費無料を県で行うた
めの条例改正、農村
文化伝承館対岸のあ
づま屋解体に伴う条
例一部改正などで
一般会計補正予算の
ほか上程議案を審議
し、いずれも原案のと
おり可決・承認され
ました。

このほか議員発議
6件のうち5件を可
決し閉会しました。

条例

○村山市新型インフルエンザ
等対策本部条例
新型インフルエンザ等対策
特別措置法が施行されたこと
に伴い、本部長を市長とする
対策本部設置に関する条例を
制定するもの。

○村山市議会の議決すべき事
件に関する条例の一部を改正



新しくできたクアハウス基点の眺望露天風呂

する条例
各自自治体の判断に任された
基本構想の策定に議会の議決
を必要とするための関連条例
を改正するもの。

○村山市福祉医療費の支給に
関する条例の一部を改正する
条例
県が中学生入院無料化を行
うことに伴い、医療機関で医
療証を提示することにより本
人の自己負担がなくなるもの。

請願

○TPPへの参加に反対する請願
賛成少数で不採択

発議

○ホテル・旅館等建築物の耐
震化の促進に関する意見書

○空き家・廃屋問題の解消に
向けた法整備を求める意見書

以上全会一致で可決

○TPP交渉における聖域品
目の関税化確保と成長戦略に
おける農家所得倍増計画の再
考を求める意見書

○電力料金値上げに関する意
見書

○電力料金値上げに反対する
意見書

○村山市特別職に属する者の
給与等に関する条例の一部改
正について

以上の発議の可否は左の審
議結果へ

補正予算の主なもの

1. 一般コミュニティ助成事業費補助金
4,800千円
2. 介護基盤緊急整備事業交付金
142,680千円
3. 農業振興事業補助金 30,599千円
4. 商店街街路灯整備支援事業費補助金
450千円

コミュニティ補助金は大倉地域元
気なまちづくり協議会と二日町奴
保存会への補助金。介護基盤の交
付金は、中央二丁目に地域密着型
小規模特養を開設する費用の一部
を補助するもの。農業振興事業補
助金は園芸用ハウス・カントリー
エレベーターなど農業資機材を整
備する補助金です。

ここが聞きたい 一般質問

Q & A

本定例会の一般質問は
6月12日・13日に11人の議員が行いました。
質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

※一般質問のQ & Aは議員の原稿をそのまま掲載しています。



体育施設の老朽化対策について

長南 誠 議員

Q 武道館など体育施設は設置後年数が経ち、傷みが激しく改修・改築をすべきと考える。施設の老朽化対策を伺う。

A 武道館の耐震診断は平成26年度行う。14

体育施設の現状、課題をまとめそれを基に改修・改築設置場所等各団体と相談し決めたい。武道館を含む体育施設事業は、学校改築後を目標に計画を作る。体育館東側に集約したい。市民体育館床面は全面改修で対応する。楯中グラウンド公認は学校改築後と考えている。

Q スポーツの位置づけと振興について伺う。健康増進、生きがいづくりのため一人1

A スポーツの普及をスポーツ振興計画に基づき進めている。平成20年度実施率が47%で目標に近づいている。競技スポーツ選手が育つ環境整備は、地

域スポーツクラブへの助成など行っている。市独自の強化は難しい。

Q 村山市で体罰が7件あったが無くす対策など伺う。

A 無くす視点として①教員の指導力向上②体罰を肯定し正当化する考えの是正③校内での体

罰は許さない指導体制、教員の共同体制の確立。アンケートは実態把握の手段として行う。指導者の士気は体罰の根絶、毅然とした指導の両面から全力で指導できる学校体制づくりを支援する。



早期改築が望まれる村山武道館



施策方針について

佐藤敏彦 議員



第5次総合計画主要事業「駅西整備」

Q 2期目の政策「地域と人が輝く交流創造都市」プランの総括について。計画に対し、達成状況、事業効果は。

A 市民との信頼関係、行政の継続性、計画性を重視して進めてきたその中心は、市民の皆さんであると考えている。

Q 3期目の考え方にについて。第5次市総合計画の基本方針は。

A 第4次計画をベースに、現状を的確に把握して、課題を明確にし

て目指す方向性を定める考えだ。そして、各事業の熟度を上げることが肝要であると思っている。中核政策は、人口減少に歯止めをかけ、交流人口を増やし、地域を活性化させ、村山市の個性が発揮できる施策を推進する。具体的には、市民のニーズを的確に捉えて、産業の振興と雇用の創出、子育て教育環境の整備、住環境や福祉の充実などが効果的に進められるよう準備している。三期目についても、「地域と人が輝く創造都市」を目指し、①にぎわい②地球にやさしい③交流でいきいき④むらやまへ来てみたくなる⑤次世代、三十年先を見据えたまちづくりの5の柱を、基本方針とする考えだ。特に、駅西地区の整備等を中心にまちづくりを進めたい。



SNSの活用について

長谷川 元 議員

Q つい先日より、村山市のFacebookページが立ち上がった。これは観光PRの側面が強い事業だが、今後益々PRに努めることを望む。SNSという双方向のコミュニケーションを図れる利点を十分に生かしているとは言えない状況にある。災害情報などは現在は防災無線が市消防のテレホンダイヤルからのみ入手可能だが、市民がそれ以外の方法で災害情報入手するのは困難。細かな情報を速く出せるのも、SNSのメリットである。是非ツイッターなどのSNSを利用した、災害情報の伝達を検討して頂きたい。

A ツイッターについては、情報を早く伝える方法としては有効な手段であるが、なりすましや、誹謗中傷など公式サイトに載せることは、問

題が多すぎると考えている。

Q 内閣府や山形県などでも行っているのに、誹謗中傷などをブロックできるルールをきちんと作ってツイッターの運用を検討すべきである。子育て支援についても、様々な施策があるが、体系的にまとめたパンフレットを作成し、バラま

りや徳内まつりなどで配り、若者の定住促進につなげてはどうか。このような「見える化」が今の行政に必要では。このほど公表された統計資料を見る限り、五点満点は難しい村山市の現状だからこそ改革が必要と思う。



首相官邸で行っているツイッター



風評被害から農産物を守る 検査体制を

中里芳之議員



風評被害のため、収穫できなくなったわらび園

り組むのか。⑥被災地からの災害廃棄物の受け入れと汚染ワラビは関係あるのか。

A ①②村山市内としから県から情報を得ていない。③市としては県の検査を信頼している。④信頼できる検査・公表が大事。これまでどおり信頼できる機関で検査していく。⑤県と一緒に相談窓口になって対応していく。⑥関係性はない。

Q ①安倍内閣は原発再稼働への暴走をはじめめたが市長の見解は。②再生エネルギーで恩恵を受ける人を増やすことが脱原発への現実的な道。先進自治体にならって取り組み強化を。

A ①県の「卒原発」「エネルギー戦略」を支持する。②電力の地産地消に向けてがんばる。

Q 村山市産の自生ワラビから基準値を超える放射性セシウムが検出され、県は市内4か所のワラビを検査。いずれも未検出と発表し出荷自粛を解除した。①汚染ワラビは市内のどこで採取されたものか。②4か所の検査の場所はどこか。③

コシアブラもワラビも、本県ではなく仙台市の検査で明らかになった。市はこれまでの検査体制をどう評価し、今後どうしていくべきと考えるか。④市独自に放射能濃度測定器を購入すべきだ。⑤風評被害など損害を受けた生産者の救済にどう取



新村山産業高校設置と 地域の活性化とは

大山正弘議員

Q 楯岡北部、大倉金谷地区の生活利便性をどのように考えているか。

A 楯岡北部地区は、農工商一体の町づくりを進める重要な拠点として考え、現在楯岡北部にはスーパーマーケットの必要性を感じている。このように発展性のある地域に是非出店を期待する。

Q 新村山産業高校生と市民の安全確保は。

A 平成26年度開校に伴い、鶴ヶ町の湯沢口交差点から北へ約900m区間を、西側歩道の縁石を移動し、歩道除雪幅確保、西側の既存の側溝は、新たに布設替する計画。将来的に消融雪溝として活用できるような形にして行く。また、路肩部分にカラー舗装し自転車通行できる計画である。

Q 新産業高校周辺整備計画方針は。



新村山産業高校開校に向けたまちづくりを

A 新産業高校周辺は、Aみちのく村山をはじめ食品会社、定住促進住宅、グリーンタウンもあり、将来の構想として、村山駅から鶴ヶ町西線を整備し金谷工業団地へと続けて計画して行く。

Q 市役所は東口から玄関だが、南口玄関か

らの来庁に問題は。利用形態からは問題はないと考える。市役所の玄関は来庁者にかかりやすく、利用しやすいことには妥当性があり、来庁者が利用しやすい所から出入りしてもらって良いと考えている。



村山市の産業振興について伺う

鈴木健治 議員

Q 村山市の産業振興策特に、TPP交渉参加を見据えた村山市の農業・商工業に対する支援取り組み、さらに、農工商連携の6次産業化の進捗について伺いたい。

A 村山市長として、国が交渉を進めているTPPの参加は当初より反対である。農業の支援取り組みは、今後5年で圃場整備の大規模化・効率化などを進め、若者の就農支援に取り組む。市内企業の支援体制は、徳内融資制度の見直しを行い使いやすい制度で支援

して行く。さらに、若者が定住できるよう金谷工業団地の造成も取り組み、中央の企業にもアプローチを行っている。6次産業の推進は今回村山市が進める新産業創出事業、また、県の創意工夫プロジェクト事業等で支援する。

Q 今回設置された鳥獣被害対策実践隊と、北村山3市1町が連携した鳥獣被害対策の充実について伺いたい。

A 国の鳥獣被害防止特別措置法の改正に伴い、鳥獣被害対策実施隊を設置した。任命された猟友会会員の狩猟税半額の補助や射撃技能講習の免除、捕獲に従事した場合の日当を配給、また、捕獲に対しても支給するもの。今後とも南奥羽鳥獣被害防止広域協議会により、広域的な対策を行う予定。



大規模化の進む圃場整備事業



五次総合計画の重点目標へ 構想施策について

海老名幸司 議員

Q 新年度を迎え空き家の実態調査も終了していると思うが、その結果についてその実態及び今後の対応について伺いたい。

A 今年4～5月にかけて調査をしたところ市内には、住宅、小屋、車庫を含めた空き家は460棟あった。今月中旬から7月にかけて市職員が詳細調査し、建物外部の破損状況などを調べる。結果を踏まえ条例の制定などを検討する。

Q 市長の議会答弁をみると五総の重点目標は人口減少に歯止めをかけることにあると思われる。そのための重点構想、施策として産業の振興、企業誘致等をあげており、大変結構と思われるが、市長が言及されていないものとして、その他に中心市街地の開発問題と農村集落の除排雪の問題が

ある。前者は都市計画税の問題もあって積極的に対応すべきであり、後者は高齢者にとって負担が大きく生活していくのが大変になり、農村集落のままですの衰退を招くと思われるのでしっかりと対応していただきたい。

A 中心市街地はまちづくり交付金事業で様々取り組んだが周辺は一気には難しい。区画整理、都市計画道路も難しいものがある。(雪問題については直接の言及はなく地域計画について言及ありその中でということか)



対策が望まれる空家

議会報告会開催!

議会基本条例で定められた第3回議会報告会が開催されました。今回は戸沢、大高根、大倉、袖崎の4地域で開催し、全議員2班に分かれて出席しました。議会報告会の内容は、25年度一般会計予算、特別会計予算の概要を説明し、総務、文教厚生、産業建設の各常任委員会での審議内容を報告しました。その後参加された市民の皆様から質問や意見をいただきました。各地域とも市民の関心が深く、活発な議会報告会となりました。特に戸沢地域では30名を超す参加者があり多くの質問、提言がありました。

報告会でも出されたご意見・ご要望を参考に、今後の議会活動に反映させていきたいと思っております。

市民からの意見・要望と対応

● まんぶく市場は、この先誰が責任を取るのか。議長の減給はおかしい。責任あるのなら全議員が取るべき。

【この件については、昨年十二月議会において道義的責任として、市長の給料減額、議長の報酬減額に関する条例が提出され、慎重な議論を交わし、関係条例が可決されて対応されております。】

● 大久保小学校改築はおかしい。少子高齢化が進



むなが必要ない。早く市民に周知して意見をヒアリングすべきでないか。

● 放置された空き家が心配。条例の制定望む。

● 袖崎は雪が多く人口減少している。先進地の政策を学び、雪対策に力を入れてほしい。

● 市道、県道、国道の除雪に差がある。

● 各地域の防災に関し補助金が出るが、立て替え払いは、検討してほしい。

● 光ファイバーはいつ頃から使えるか。民生費とはどういうものか。

● 空き家が壊れたが所有者は県内におらず処分できない。何か方法は。

● 婦人会の役割は大きい。各地区会員が少なくなっている。応援を願う。

● 消雪道路のポンプが壊れたり、水が出ない場合の対応はどうか。流雪溝整備も検討してほしい。

● 田畑の雪押し場の雪を春に早く片付けてほしいと土地所有者から要望されている。

● ジェネリック医薬品の説明を聞いたがどの段階でジェネリックを申し出るかわからない。

● 東部に東沢公園がある西部にも都市公園を整備してほしい。

● 70歳以上の医療証をカードにできないか。

● お城山の「あづま屋」が豪雪でつぶれた。管理責任はどこにあるか。

● 共栄橋を通りR13号とR34号を結ぶ道路を作ってほしい。

● 大淀発電所を作って資源の活用を。

● 空き家の有効活用はないか。



【以上については執行部に対し報告いたしました。】

● 村農高から鶴ヶ町までの歩道整備をしてほしい。

● TPP反対意見書に反対した議員がいる。反対理由は。退席とはどういうことか。

● 少子化の影響で地区には入学する子どもがいない。市の新生児出生率はどうか。

【以上については報告会で説明しております。】

次回の報告会は、9月議会終了後に予定しております。

開催地は、楯岡地域・西郷地域・大久保地域・富本地域を予定しております。回覧等で皆様にご案内いたしますので、多くの市民の参加をお待ちいたします。



釜石市の仮設住宅

波により被害が拡大し、しかし想定外の津波防災意識を伝承してきた。防災教育、訓練の重要性を改めて再認識した。

【視察先及び目的】
①釜石市 ・ 行政防災対策 ・ 防災教育（震災前と震災後の取り組み）・ 関連事項
②横手市 ・ 空き家対策・ 横手市交流センター

【視察の概要】
①釜石市は東日本大震災までに3回、大津波被害を経験していることから、地域ごとに津波ハザードマップ作成、自主防災組織の充実と意識高揚による防災対策を進めるとともに、津波防災教育により次世代への津波防災意識を伝承してきた。防災教育、訓練の重要性を改めて再認識した。



横手市交流センター

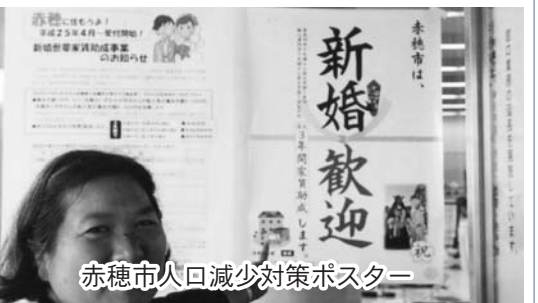
②横手市「空き家等の適正管理に関する条例」を制定している。実態調査、空き家の利活用では、空き屋バンク制度、移転促進空き家対策制度など特徴的である。我が市でも安全安心の確保と生活環境の保全の面からも、条例制定を初めとして対応が急がれる事業である。



亀岡市「ガレリア亀岡」での研修

③亀岡市ではガレリア亀岡という生涯学習施設で、市の生涯学習事業をほぼ全て委託している財団が指定管理を受けていた。

【視察の概要】
①赤穂市ではスポーツ都市宣言と健康と医療について研修を行った。スポーツ都市宣言は平成24年2月に行いシティマラソンの実施や、NBL（日本バスケットボールリーグ）の公式試合の招致など「する」「みる」「させる」の3本柱で事業を展開している。ハード事業よりもソフト事業に注力している点が参考になった。また健康と医療の点では、平成7年より各種がん検診を20歳以上対象で行っており、女性がん検診も同様であった。検診時の乳幼児預か



赤穂市人口減少対策ポスター

②相生市では子育て支援について財政課担当者より説明を受けた。行財政改革で得た27億6千万の成果を子育て定住支援に回すことで実現した。人口減少対策は主に社会減対策で、教育子育てで自然減対策とした。幼稚園から中学生までの給食費完全無料化など特筆すべき事業を多数行っている。



内子町みちの駅「からり」の視察

今回の視察は、昨年引き続き元気の出る農業、地域活性化の主な取り組みは、エコジータウンなどをキャッチフレーズとした農村景観保全や農産物の直売、農村民泊、グリーンツーリズムなどによる交流人口の受け入れなどの活性化事業を国・県の補助事業などをフルに活用、更には人材、資源、施設の共有活用、新商品の開発、イベント、PR活動の協力体制など。ネットワーク化を生かしたスケールメリットの効果がキーポイントであると思われる研修であった。

【視察場所と内容】
①愛媛県内子町・道の駅「からり」のトマト酢とケール青汁を活用した農業の6次産業推進事業について
②愛媛県松山市・アーケード内空間を利用した大型映像装置を利用した情報発信事業について
③広島県世羅町・世羅高原6次産業ネットワークについて
④広島県尾道市・おのみちスローフードまちづくり事業などについて研修を実施した。



世羅高原ネットワーク体制の研修

内容の主な取り組みは、交流創造のための地域資源の見直しなどについての取り組みや行政の体制について研修を実施した。

市民の声



黒沼友実さん (大高根)

私の住む山の内は山に囲まれたとても自然豊かな所です。フレンドリーでユニークな地域住民の方々がおり、私はこの地区が好きです。

冬は豪雪で困ることもあります。春には美味しい山菜が採れ、夏にはホタルがたくさん飛び、秋にはキノコや美味しい農産物が採

れて、とてもいいふる里だと感じています。その山の内地区をずっと維持して行きたい。祖父母、両親の良い技術を継承していかなければならない。と感じ今年から山の内でも農業を始めました。悩むことも多々ありますが、山の内に適した農産物を作るよう頑張りたいと思っています。

山の内には、自然体験交流施設



山の内への棚田



山の内産のワラビ

『やまばと』があり、葉山山岳マラソンなど様々なイベントで集客能力があります。もっと山の内を村山市をPRし活性化に繋げてほしいです。

ぜひ山の内においで下さい。その時はマナーとモラルを忘れずに美しい自然を守りましょう。

議会だよりクイズ

<当選者決まる>

4月15日発行 (No.77号) の議会だよりクイズの当選者が決まりました。

正解者の中から、公正な抽選により3名の当選者の皆さんに、新しい大浴場が完成しましたクアハウス基点の入浴券をお届けさせていただきました。ご応募誠にありがとうございました。

なお、個人情報保護に配慮して、正解者のお名前は公表しないことにいたしました。ご了承ください。

クイズの答え Q1: 村山市の「市の花」 **バラ**

Q2: 今年度から榎岡小学校と一緒になった小学校 **大倉小学校**

Q3: 村山市の今年度当初予算の総額は、億単位でいくらでしょう **①195億円** が正解でした。

第2回

【応募先】

郵便番号 995-8666
村山市中央 1-3-6
村山市議会事務局

<問題>

Q1: クアハウス基点の新しい大浴場が完成しました。

さて、オープンは、今年の〇月〇〇日だったでしょうか？

Q2: 甌葉プラザは、今年5月29日でオープン〇年目に入ったでしょうか？番号でお答えください。

① 3年目 ② 4年目

Q3: そして、利用者は、これまで、およそ何人でしょうか？

番号でお答えください。

① 30万人 ② 50万人 ③ 80万人

応募方法

- クイズの答え、住所氏名をお書きのうえ、郵便はがきでご応募ください。
- 正解者の中から抽選で3名の方に粗品をお送りさせていただきます。
- 締め切り 平成25年7月31日 (当日消印有効)

委員長
副委員長
委員

須藤 和幸
井澤 秋雄
秋葉 新一
川田 律子
長南 誠
布川 淳一
長谷川 元

議会だより編集委員会